

# 成功させよう 豊かな海づくり大会

# みんなガン

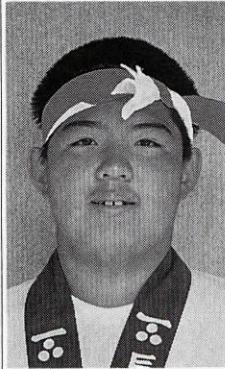
### みすゞ少年少女合唱団



杉村 加奈さん  
深川小学校 5年

「みすゞさんの心を歌声にのせて」  
私達は、豊かな海づくり大会に向けて、いっしょうけんめい練習しています。みすゞさんが作った詩を歌います。その中に「大漁」という歌があります。いわしがたくさんとれてにぎわう、浜辺のうらの海の魚達の気持ちを歌った歌です。気持ちを表すのがとてもむずかしいです。みすゞさんの詩は、とてもやさしくて、明るいです。全国からのお客様によるこんでもらえるように、がんばりたいと思います。みすゞさんも空の上から、私達の歌を聞いてくれるといいな。

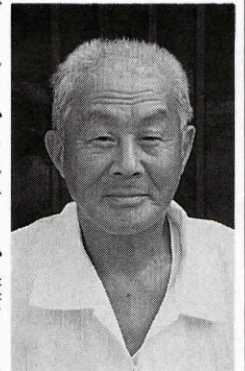
### 鯨唄 通中男子生徒



関本 定治さん  
通中学校 3年

僕たちは、豊かな海づくり大会で発表する、鯨唄の練習に励んでいます。夏休み前までは声があまり出ず、毎朝、授業前に大きな声が出るまで練習していました。  
8月16日には、保存会の人と初めての合同練習を行いました。うまく唄えませんでした。  
大会当日は、天皇・皇后両陛下を始め、全国からの参加者の皆さんの前で唄うことを思うと、緊張してしまいそうですが、一人でも多くの皆さんに、通の鯨唄を知っていただくためにも、心を一つにし、力一杯唄ってみようと思っています。

### 植花計画



松田 七郎さん  
仙崎地区老人クラブ支部長

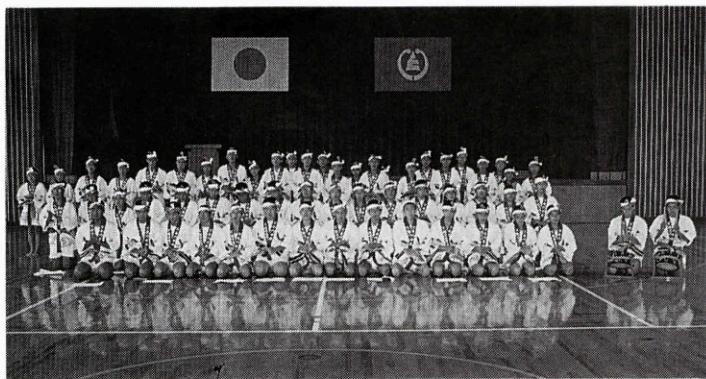
マリナーゴールド、サルビア、葉ボタンなど約千鉢を、仙崎地区老人クラブが引き受け、いよいよ今月から育てていくことになりました。  
14支部のうち11支部が協力して、当番制で管理をしていく計画です。  
水はもちろん風が出てても気がかりで、見回りをせにゃあならんと覚悟しています。  
成育した花が満開で、環境美化に貢献するよう、メンバーの経験をふるに活用し、挑戦してみたい。花咲かじいさんじゃあないが「見事に花を咲かせてみせよう」という心意気でおります。



▲ やさしさを届けます みすゞ少年少女合唱団



◀ 市の花ガールベラで彩りを!



▶ 伝統の鯨唄をじっくり聞かせます。